

CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	天下茶屋IV(天下茶屋1丁目)マンション 新築工事		
建設地	西成区天下茶屋1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	631.38	m ²	
建築面積	273.90	m ²	
延床面積	2,089.39	m ²	
構造/階数	S造	/	地上9階
完了年(予定)	2020年11月		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

B-
BEE=0.5

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 78%
③上記+②以外の 78%
④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.9
Q2 サービス性能: 2.2
Q3 室外環境(敷地内): 1.1
LR1 エネルギー: 3.2
LR2 資源・マテリアル: 2.5
LR3 敷地外環境: 3.0

ラベル表示: **有**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.1

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	LED照明など高効率機器を積極的に採用することで省エネルギー性に優れ、環境負荷を低く抑えられる建築物とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	住戸間の壁は遮音性に優れた材料を採用し、快適な室内環境の実現と、自然換気が十分に確保できる大きさの窓を用い、自然エネルギーの積極的利用を計画。	Q2 サービス性能 特になし
LR1 エネルギー	建物全体の照明設備は、LED照明などを積極的に採用し、一次エネルギー量の低減に努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR2 資源・マテリアル	特になし	LR3 敷地外環境 一次エネルギーの発生を抑え、建設に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑える建物となるよう計画

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = **0.5**

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.8
配慮事項	建物内の照明など、高効率機器を採用し、「建設時」「運転時」「解体時」における、LCCO2発生を低く抑える計画とした。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.6
配慮事項	建物全体の照明設備は、LED照明などを積極的に採用し、一次エネルギー量の低減に努めた。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級)	等級3 (相当)	非住宅部分[BPI][BEIm]	-
	建物全体[BEI][BEIm]	0.94	住宅部分[BEI]	0.94
一次エネルギー消費量			非住宅部分[BEI][BEIm]	-

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ (27) m <input type="checkbox"/> 地上部 (<input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 ()
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m </div>
ウ 日照の確保 (冬至)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
③ 熱需要の条件等の検討	
ア 建築物の用途	共同住宅
イ 熱需要対象用途	<input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
ウ 設置可能面積	(248.0) m ²
エ 概算年間熱利用量	(215,958) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (例：設備用基礎の設置) ()
④ 導入判断	
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない	
導入を見送る理由（複数選択可） <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他 ()	
2 導入する設備の概要	
ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
備考	